

ホクレン営農支援情報

(2020年4月号)

●電場処理技術（SCS）を利用した玉ねぎの長期貯蔵技術の開発 《食品流通研究課》

食品流通研究課では、北海道産玉ねぎの周年供給を目的とした簡便かつ低コストな長期貯蔵技術の開発に取り組んでいます。

試験は平成28年産から30年産の玉ねぎを用いて3カ年実施しました。毎年1月頃から7月まで玉ねぎを1℃・湿度60%の条件下にて普通冷蔵、CA^{※1}冷蔵およびSCS^{※2}冷蔵（右写真）で保管し、品質保持効果を比較しました。その結果、SCS冷蔵は①安定して普通冷蔵に優り、かつ、②CA冷蔵に比べてわずかに劣る～同程度、の品質保持効果を有する可能性が示唆されました（下表）。

※1 CA…Controlled Atmosphere の略。空気中の酸素や二酸化炭素濃度を調整すること。

※2 SCS…Super Cooling System の略。貯蔵庫内に電場状態を作り出し、水分子同士の結合を抑制する技術。



玉ねぎのSCS冷蔵実験の様子

表. 7月下旬～8月初旬に測定した出庫2週間後の正品率（%）

産地 収穫年/試験区	訓子府町産			北見市産		
	普通	CA	SCS	普通	CA	SCS
平成28年	8.3	-	60.0	-	-	-
平成29年	10.3	48.7	38.5	41.0	74.0	76.9
平成30年	56.7	73.3	73.3	45.0	46.7	58.3

平成28年産・30年産：n=60、平成29年産：n=39。試料は全て「北もみじ2000」（L玉）。7月中旬に出庫後15℃で2週間保管した。

●札幌で担い手向け研修会「水稻」を実施しました 《営農支援推進課》

営農支援センターでは、就農年数の浅い担い手の人材育成を目的とした研修を実施しています。今回、「水稻」をテーマに2月19～20日に札幌のホクレン研修センターで研修を行い、25名の生産者が参加しました。



研修では、水稻の基本的な栽培技術のほか、販売情勢、病害虫と防除法などについて学んだほか、米の食味に関する講義では「ゆめぴりか」「ななつぼし」などの食べ比べも実施。また、受講者同士の意見交換や、1日目の夜には懇親会も行い、研修はおおいに盛り上がりました。



今年度の担い手向け研修会は今回で終了となりますが、令和2年度もさまざまなテーマで研修を実施予定です。各支所営農支援室やアグリポートを通じてお知らせしますので、ぜひ参加ください。

●ホクレン農総研主催の各種研修会中止のお詫び 《農業総合研究所》

新型コロナウイルスの感染拡大が続く現状を踏まえ、ホクレン農総研が主催する下記研修会を中止いたしました。事前申し込みをいただいていた皆さま、参加をご検討されていた皆さまに心よりお詫び申し上げます。

【中止】

・2月25日「ホクレン農業総合研究所 情報交流会」

- ・ 2月26日「2020 北海道クリーン農業セミナー」（北海道クリーン農業推進協議会主催）
- ・ 3月18日「令和元年度『農福連携』研修会」

● 旭川で営農支援研修会を実施しました 《旭川支所 営農支援室》

旭川支所では、2月12日にJA上川ビルにおいて営農支援研修会を開催しました。この研修はICTなど最新の営農関連技術を紹介するもので、JAや関係先など約40名が参加しました。

研修では、ホクレンからもドローンに関する最新の情報提供を行いました。また、JA全農の養液栽培システム「ういず One」と、トマト等で増収効果が期待されている炭酸ガス施用の事例を紹介しました。なお、ドローンとういず One については、アグリポート 23号（2020年2月号）でも紹介していますので、ご参照ください。

● アグリポート 24号を発刊 《営農支援推進課》

4月1日にアグリポート 24号を発刊しました。特集は「配偶者は農業経営の頼れるパートナー 夫婦農業」です。

北海道の農業は多くが家族経営です。経営主にとって、配偶者や家族は単なる労働力ではなく、大切な経営のパートナーです。夫婦が対等な関係で営農に関わることが農業経営を成長させる鍵のひとつとして、それを実践している夫婦の事例や、夫婦で営農する際のポイントなどを紹介しています。また、独身



者向けの情報として、農家の婚活パーティー参加者の感想を赤裸々に語っていただきました。ちょっとドキッとする内容になっています。

そのほか、北海道農政部の担当者が解説する2020年の品目別の営農のポイントや、農

畜産物と水産物がコラボする効果などを掲載しています。ぜひご覧ください。

●アグリポートのバックナンバーはホクレンの HP から 《営農支援推進課》

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、道内の農業関係の研修会なども多くが中止や延期となっています。このような時期だからこそ、冊子やインターネットを活用してあらためて農業に関する情報収集をしてみたいかがでしょうか。

アグリポートは最新号を含むバックナンバーをホクレンのホームページ上で公開しています。ぜひご利用ください。

アグリポートバックナンバー
ホクレンのホームページから
ご覧いただけます
<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/>



発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp